創立50周年記念誌「輝く50年 未来につなぐ絆」の刊行を水戸市長に報告

記念誌刊行を報告する山川会長

水戸市高齢者クラブ連合会の山川庫会長は、３月４日、高橋靖水戸市長を訪問し、創立５０周年記念誌の刊行を報告するとともに、記念式典実施に際しての市の協力に感謝の意を表した。

山川会長は「この記念誌は単に連合会の活動および歩みをまとめただけでなく、戦争体験の語り部も少なくなってきている現在、戦争についての体験を記し、後世に平和の大切さを伝えるのは、私達高齢者の役目だと考えました。また、間もなく３年目を迎える東日本大震災。これも風化させてはならないと体験談を募って、記録として残そうということになったわけです。」と記念誌の特徴を述べ、関係機関等への配布に先立ち、高橋市長に上製本版を贈呈した。

高橋市長からは「普通は、歩みだけの記念誌が一般的なのに，よく戦争体験や震災の体験をと考えましたね。これが、高齢者クラブだから出来ることなのですね。しかし、これだけの原稿を集めるのは大変だったでしょう」とねぎらいの言葉をいただいた。また「大変貴重な資料だと思うので、市でも担当している課がありますので、活用させていただきたいと思います。」とも述べていた。

記念誌を贈呈する山川会長

記念誌は、Ｂ５判で約２９０ページ、１５，０００部印刷。会員、執筆者への配布と併せ、関係機関、行政、図書館等はもとより、市内の小・中学校等へは複数部贈呈する。郷土の歴史等を学ぶための副読本的に活用をしていただけるものと考えている。